

## あすみが丘小学校・大椎小学校田んぼ 2011 草取り編

あすみが丘小学校、大椎小学校の5年生が、小山にある学校田んぼの草取りにやってきました（あすみ小 6月28日、大椎小 7月9日）。放射能を心配する声があり、子どもたちによる田植えは見合わせとなりましたが（保護者・先生が代行）、放射線量測定の結果、問題のないことがわかり、草取りは実施することになりました。大椎小の子どもたちは田植えの見学と自然観察を行っているので今回が2回目ですが、あすみ小の子どもたちははじめての田んぼです。あすみ小田んぼは去年まではアシ原だった休耕田を、先生方や有志の保護者のみなさん、それに子どもたちで開墾してよみがえった田んぼです。

草取り作業前に田んぼの草取り作業がいかに重要な仕事を聞きました。この時期、稲株の間にびっしりとはえてしまう、やっかいもののコナギが食べられると聞いて、一生懸命、コナギ取りをして持って帰る子もいました。田んぼに入れることになったので、オタマジャクシやホトケドジョウなどを捕まえようとして、泥んこになってしまう子どももいました。子供たちは自分たちの田んぼや田んぼの生きものに触れて、いろいろなことを感じとってくれたようです。（江澤芳恵・松下恵美子）

### ■あすみが丘小学校

\*あすみ田んぼの仕事の手伝いは、少し大変だった。田んぼのざっそうをきっている人たちの草をもって、ぼくは草のざっそうをはこんだ。草のおいがすごくしました。ぼくが一番楽しみだったのが自然観察です。自然観察でたくさんの虫やしよくぶつを見ました。へびは死体しか見れなかったけど、すごく楽しかったです。（Y・K）

\*自然観察の次に仕事のてつだいをして、とてもあつかったけど、わたしたちがやらないとお米は食べられないと思っていっしょうけんめいがんばった。わたしたちははっぱをきずつけたりしなせたりしています。なので、かんしゃしてきちんと米を育てていきたいです。（N・M）

\*初めて田んぼを見たので、少し大きく感じました。自然観察では、ミミズを見たけど、気持ち悪かったです。ヤゴを見つけて「死んでる」と言ったら生きていて、しかもそのヤゴは「ヤゴの中で一番大きいヤゴだ」と稲富さんが言っていました。（K・Y）

\*最初は虫とかあまり興味なかったけど、だんだん虫をみるのが楽しくなっていった。へびはみたことあるけど、いっしょにだけだったからじっくりみれてよかった。おたまじゃくしからかえるになりたてのかえるがみれてうれしかった。米ができるのが楽しみです。（A・K）

\*自然観察でシオカラトンボをつかまえた。ホトケドジョウをやせいで見たことがなくて見れてよかったです。草とりでザリガニがいてかっこよかったです。カエルをつかまえようとしたけどすべってつかまえられなくてざんねんでした。草をはこぶのがちょっとつかれた。（H・I）

\*田植えがむずかしそうだった。やってみたかったけど出来なくてざんねんだった。おたまじゃくしがたくさんいた。「おいで〜。」と友だちと言っていたら三匹がゆっくり私たちの方に来た。カモが、近づくと逃げていった。（A・O）

\*草とりなど、いっぱいできて、うれしかった。あすみ田んぼをはじめてみて、すごかった。めだか、けむし、かも、さわがになど、いろいろな生きものがいてびっくりした。しよくぶつもいっぱいあってびっくりした。（K・T）

### ■大椎小学校

\*谷津田で、1番印象に残ったことは、田んぼの中に入ったことです。田んぼにしかはえない草の中には食べられる草もあるそうです。田んぼに行って、楽しかっただけでなく、よい経験になりました。谷津田に行ってよかったです。（M.C）

\*自然観察会では、田植えのときに見られなかった、アゲハの幼虫などの生き物がたくさんいた。田んぼは、

いねの草だけがのびていた。草取りは大変だったけど、稲が元気に育ってほしいなあ。(J.W)

\*金谷さんが、「田んぼにはえている草には食べられるものがある」と言ったのでびっくりしました。田んぼでは米だけでなく、水草もとれて、食べられるんだなと思いました。(C.N)

\*田んぼの中や空中にたくさんの虫がいた。田植えのときには、オタマジャクシだったシュレーゲルアオガエルがカエルになっていました。つかまえにくく、すぐ逃げてしまいます。ほかには、シオカラトンボやアゲハの幼虫がいました。葉っぱを折り曲げて卵を産んでいたクモもいました。(K.N)

\*田植えのときよりも稲がのびていた。雑草も多かった。食べられる雑草があることも知った。田んぼの中には、タニシやメダカ、ヤゴ、ザリガニ、サワガニ、あぜには、カマキリやバッタ、カエルやクモなどの生き物がいた。とくにいろんな種類のクモがいた。オタマジャクシの数が減り、カエルの数が多くなった。(K.R)

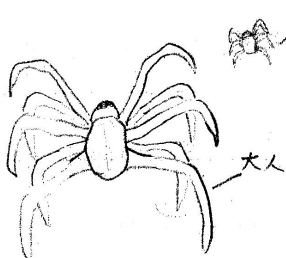
\*谷津田で草取りをしました。田んぼの中に実際に入って草取りしたりあぜをきれいに直したりしていました。田んぼの周りの草取りの手伝いをしていたら、実のようなものを見つけたので、金谷さんに聞いたら、きれいな花をさかす種だということで、何の種か調べたいです。自然観察に行ったら、葉っぱにくるんであるクモのたまごを見つけました。クモのほかにもカエルやトンボなどをみましたが、田植えのときより、カエルがいなかったです。(N.F)

\*田植えに行った時と違う虫がいた。クモの赤ちゃんがたくさんいて、息をふきかけると動き出したのでおもしろかったです。また、クモの巣にジグザグの模様がすごいなと思いました。(A.U)

\*田植えで行ったときは、カニやケムシなどがいたけど、もう成虫になったりしていました。トンボも前よりいろいろな種類がいました。思ったより草がたくさんはえていたのでとるのがたいへんでした。稲も、ひざぐらいまで成長してしていました。(N.S)

\*くものたまごを初めて見てびっくりしました。6月の田植えのときは、おたまじゃくしがたくさんいたけど、今回は、アメンボしかみつけられませんでした。(A.S)

■あすみが丘小学校の子どもたちが観察した生きものレポートです。



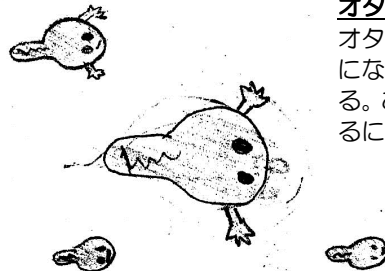
**ハシリグモ**  
大きくてきもちわるかった。近くにいたカエルをねらっていたみたい。水面にのっていてすごかった。子どもも見つけた。(K・O)



**ホトケドジョウ**  
子どもだった。ちらっと見たらメダカとちゃうくらい小さい。(K・Y)



**カワニナ**  
カワニナは水がきれいですごくつめたいわきみずの近くにいた。大小いろいろあった。(Y・T)



**オタマジャクシ**  
オタマジャクシはかえるになる前に足がはえている。これが成長するとかえるになる。(A・A)



**コナギ**  
草だけど食べられる草。田の栄養をたくさん取る。たくさん栄養を取ると光る。(K・Y)



金谷さんのお話から  
・みんなが通る道をあぜ道といってそこを通る時まん中を歩いて走らずそっと歩きます。  
・いただきますやごちそうさまを言う意味がわかって気持ちをこめてこれからは言おうと思った。(T・T)



# 里山たんけんレポート

## 第 138 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2011年7月3日(日) 晴れ

梅雨の晴れ間でしたが猛暑もちょっと遠慮してくれたような心地良い谷津の一日になりました。トンボやチョウを捕まえて観察したり、小さなエゴツルクピオトシブミやゴマダラオトシブミなどはレンズのついたケースの中に入れて拡大して見ました。アカメヤナギにはカブトムシはいなかったもののオオムラサキが来て樹液を吸っていました。トンボはノシメトンボが圧倒的に多く、マイコアカネなどの赤とんぼの仲間や下大和田の谷津では珍しいチョウトンボガがひらひらとチョウが舞っているように飛んでいました。ナガコガネグモがとらえたカマキリの子を一瞬のうちに糸でくるくる巻きにしてしまったのには驚きの声がありました。糸は一本ではないんだと良く観察している声もありました。粘着力の強いコガネグモの巣を細い竹を輪っかにしたところへ巻き付けてそっととまっているノシメトンボにつけると見事に捕れました。昔の子どもはこんな遊びをしていました。又マトラノオはちょうど見ごろで清楚な姿を見せてくれました。解散、昼食後、ザリガニ釣りをした方々はたくさん釣れて歓声をあげていました。解散後でしたがカブトムシ、ノコギリクワガタも見ることができました。

(参加者 大人 18名、子ども 15名； 報告：網代春男)

## 第 123 回 下大和田 YPP「あぜの草取り」

2011年7月23日(土) くもり時々小雨

台風の後、涼しい日が続く、この日も一日くもりで、午前中は霧雨のような細かい雨が降り続いていました。

米づくり講座の5家族 11名と平田さん、岡村さん、そしていつものメンバーの網代さん、平沼さん、柳町さんの合計 17人で草取りをしました。

あぜは雑草で一面覆われていて田んぼとの境がどこにあるのかわからないような状態でした。最初に刈り払い機で刈り、刈り残ったところを鎌で取りました。お子さんたちも参加し、小さな手で大きな鎌をうまく使って刈っていました。刈り払い機では水路やイベント広場の草刈りをしました。小雨だったので、ずっと降り続けていたので結構ぬれてしまい、お昼を食べるときは寒さを感じるくらいでした。でも昼には雨が止み、少し明るくなって気温も上がってきたので助かりました。午後は田んぼの中にも入って目立つ草を取りました。

皆さんのおかげで朝とは見違えるほどきれいな田んぼになりました。お疲れさまでした。

(参加者：大人 12名、小学生 3名、幼児 2名；報告：高山邦明)



子どもたちもカマを使って草刈りをしてくれました！

## 第 68 回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

2011年7月16日(土) 晴れ

梅雨明け以来続く猛暑の中、田んぼの草取りをしました。あぜは草ぼうぼう、田んぼの中はコナギがびっしり。呆然としてしまうような光景ですが、あぜは刈り払い機を使い、イネの間は手で草を取りました。少し動いただけでクラクラするような暑さでしたので、熱中症にならないように水分補給と木陰での休憩を忘れずしました。なかなかかどりませんが、作業をした場所は見違えるほどきれいになりました。

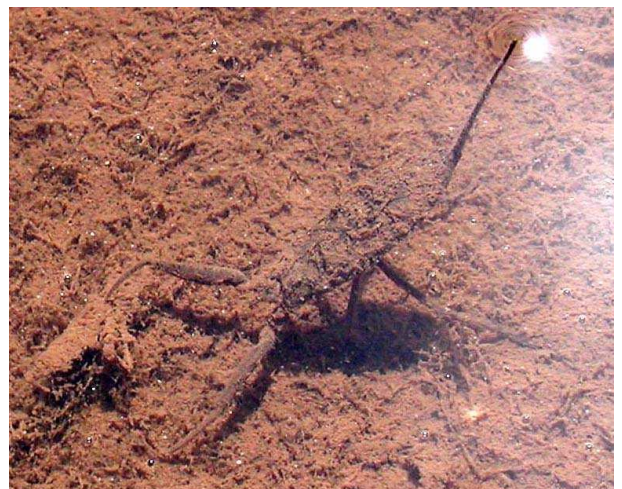
(参加者：大人 7名、小学生 2名、幼児 1名 報告：高山邦明)

## 谷津田いきもの図鑑 No. 51

### タイコウチ

カマキリのように大きなカマの形の前足を持つ田んぼのギャングです。魚やオタマジャクシなどをそのカマで捕まえ、鋭い口を突き刺して体を溶かしてしまう消化液を餌の体内に注入して、食べてしまいます。英語の名前が「ウォーター・スコープオン(水サソリ)」であることを納得してしまいます。水の中に暮らすカメムシの仲間、ミズカマキリやタガメが同じ仲間になります。タイコウチを指さして、「タガメだ！」と叫ぶのを何度か耳にしたことがありますが、タガメはもっと大きく、頑強な体つきで、最近では生息数が激減して絶滅危惧種に指定されており、千葉ではほぼ見ることはできません。

泥にもぐって身をひそめて餌をねらいますが、時折、写真のように呼吸をするためにしっぽの長い管を水面に出している姿を見ることがあります。カマのようは前足を交互に動かさず姿が太鼓をたたいているように見えることから、タイコウチ(太鼓打ち)と呼ばれているようです。捕まえると体を細長く硬直させて死んだふりをするのがおもしろいです。



呼吸管をのばして呼吸中(下大和田にて、撮影：網代春男)

(高山邦明)

## <谷津田・季節のたより>

### 小山町

- 7月 4日 夜の田んぼにヘイケボタルがたくさん舞っていた(松下)。  
7月 9日 シオカラトンボ、コシアキトンボ、アキアカネ、ギンヤンマ、チョウトンボ、オオシオカラトンボなどさまざまなトンボが見られた(松下)。  
7月16日 地元の方の田んぼでは稲穂が出始める。炎天下の田んぼでキイトンボやチョウトンボ、ナツアカネが飛んでいた(高山)。

### 下大和田

- 7月 1日 ヌマトラノオが見ごろになった(網代)。  
7月15日 クサガメが田んぼの中を歩いていた。ホソミイトンボ、キイトンボ、オオイトンボも田んぼにいた(網代)。  
7月23日 カントウヨメナやイヌタデが咲き始める。田んぼではコシヒカリ、農林1号、黒米が出穂し、花を開いていた。畔の草刈りのときシガメが現れた(高山)。  
7月25日 サシバが鉄塔にとまっていた。一昨年から姿を見せなくなっていたのでまた下大和田で夏を過ごしてくれるようになるかと嬉しい。山ではヤマユリが咲いていた。(網代)。

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

### ▼第124回 下大和田 YPP「かかしづくり」

稲穂が垂れ始める季節です。収穫まで田んぼを守ってくれるかかしづくりをしますので、皆さん、お集まりください。

日時: 2011年8月20日(土) 10:00~14:00 小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物(暑いのでたっぷり)、長靴、帽子(お忘れなく!)、軍手、敷物、もしあればかかしに着せる古着など。

参加費(資料代等): ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

### ▼第140回 下大和田 9月の谷津田観察会とごみ拾い

モズが高鳴きを始め、赤とんぼが色づき水辺に戻る頃です。小さな秋を探して谷津を巡ります。

日時: 2011年9月4日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物(暑いのでたっぷり)、長靴、帽子(お忘れなく!)、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

### ▼第69回 小山町 YPP「かかしづくり」

今年の収穫はどうでしょう? かかしを作って、9月にはじまる稲刈りまで田んぼを守ってもらいましょう。

日時: 2011年8月21日(日) 10:00~12:30 \*小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、飲み物(暑いのでたっぷり)、長靴、帽子(お忘れなく!)、軍手、敷物、もしあればかかしに着せる古着など。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

**編集後記** 例年よりも早く7月初旬に梅雨が明け、いきなり猛暑の日が続きました。そのせいで、いつもよりも早くイネが穂を出し、花を咲かせたようです。ところが、その後、一転して梅雨空が戻り、日中の気温が30度に届かない日々に。出穂した後の晴天、暑さはモミの生長に欠かせないので、ちょっと心配です。新潟では洪水でたくさんの田んぼで収穫ができなくなったようです。そうでなくても震災の影響で収穫の減少が予想されている中、この天候の影響がとても気になります。(高山 邦明)